

仙台市障害者保健福祉計画等の進捗及び今後の方向性について

a: 順調に進んでいる  
b: 課題はあるものの、おおむね順調に進んでいる

現計画における施策体系	平成30年度～令和元年度の進捗等			厚生労働省改正基本指針、近年の法改正等	後期計画期間(令和3年度～令和5年度)の主要な取組	
	重点事業等	進捗度	課題			
① 理解促進・差別解消	【重】障害理解サポーター事業	a	より多様な分野・業種の団体・企業へのアプローチ	【法・制度等】 ・障害者差別解消法の施行3年後の見直しの検討(H31年2月～)	○障害への関心の低い市民や事業者に対する効果的な啓発の実施 ○児童期など早い段階から障害当事者と交流する機会等の創出	
	【重】市民協働による障害理解・差別解消に関する普及啓発事業(TAP)・福祉まつりウエルフェア	a	障害への関心の低い市民や事業者に対して広く啓発する機会や広報媒体の検討			
② 虐待防止・成年後見制度等	虐待防止体制の整備	b	相談内容の多様化による虐待判断が困難なケースの増加			
① 早期発見・早期支援	【重】発達相談総合情報提供	a	より多くの保護者に情報提供できるような情報冊子の有効な活用方法の検討	【改正基本指針】 ○障害児通所支援等の地域支援体制の整備 ・児童発達支援センターの地域支援機能の強化による地域社会への参加及び包摂の推進 ・障害児入所施設のケア単位の小規模化推進及び地域に開かれたものとする必要性 ・障害者入所施設児童の18歳以降の支援の在り方についての協議を行う体制整備 ・障害児通所支援の実施に当たり、学校の空き教室活用等の実地形態の検討 ・児童発達支援センターや特別支援学校等を活用した難聴児支援の体制確保 ・重症心身障害児や医療的ケア児等特別な支援が必要な障害児に対する支援体制整備  ○発達障害者等支援の一層の充実 ・ペアレントプログラムやペアレントトレーニング等の支援体制の確保 ・発達障害の診断等を専門的に行うことができる医療機関等の確保  【法・制度等】 ・就学前の障害児の発達支援の無償化(R元年10月) ・難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト報告(R元年6月)	○発達相談総合情報冊子の有効な活用方法の検討  ○児童発達支援センターにおける地域支援等の機能の充実及び地域相談員の人材育成 ○協働の推進に向けた関係機関等の取組に関する情報共有及び周知啓発  ○幼稚園・保育所・学校等と連携した確実な引継ぎの仕組みづくり ○児童・生徒への支援の充実及び学校に対する支援の検討  ○重症心身障害児・医療的ケア児向けの放課後等デイサービス事業所の整備促進  ○子育て支援分野におけるペアレントプログラム実践者のすそ野の拡大 ○子供との関わり方を学ぶ家族教室の実施 ○初期支援として実施している学びや気づき等を促す家族教室の次のステップとして、家族同士が交流できる場でピアサポートに繋がる企画の検討	
	② 保育・療育	【重】児童発達支援センターによる支援の拡充	b			・新規地域相談員の増加に伴う人材育成 ・地域の支援機関との連携を拡充するための環境整備
	③ 教育・発達支援	【重】子育て・教育・福祉に係る機関及び施策間の連携の強化	b			保育所・幼稚園・学校等とアールとの連携の仕組みづくり  ・保育所・幼稚園・学校等と確実な引継ぎを行うことによる、切れ目のない支援の実施 ・学校訪問等による学校支援の充実
	④ 放課後支援	【重】放課後等デイサービスによる支援	b			重症心身障害児等の受入れ体制の拡充
	⑤ 家族支援	発達障害児の家族支援体制の整備・充実	b			・ライフステージを通じた家族支援体制の整備・充実 ・ペアレントプログラムのより一層の普及 ・家族教室における支援の充実
① 相談支援	【重】地域生活支援拠点事業	b	・中長期的な予防的視点に立った継続支援のコーディネート及び関係機関と連携した緊急受入れ後の支援の確立 ・緊急受入れ機関のネットワーク形成	【改正基本指針】 ○地域における生活の維持及び継続の推進 重度化・高齢化した障害者に対する日中サービス支援型指定共同生活援助の支援体制確保等、地域生活を希望する者が地域での暮らしを継続することができる体制の確保  ○「地域共生社会」の実現に向けた取組 地域の実態等を踏まえた包括的な支援体制の構築  ○相談支援体制の充実・強化等 ・各種機能の更なる強化・充実に向けた検討 ・基幹相談支援センターにおける主任相談支援専門員の計画的な確保  ○障害福祉サービスの提供体制 ・強度行動障害や高次脳機能障害を有する障害者に対し適切な支援ができるよう、人材育成等を通じた支援体制の整備を図る ・アルコール、薬物及びギャンブル等依存症対策の推進  【法・制度等】 ・ギャンブル等依存症対策基本法の施行(H30年10月) ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築のための手引き(H31年3月)	○地域生活支援拠点の整備及び運用状況の検証 ○基幹相談支援センターの事業委託に向けた検討 ○依存症当事者に対する集団療法の実施  ○重症心身障害児者等医療型短期入所コーディネーターと連携した医療型短期入所事業の周知および利用促進 ○共生型・基準該当施設における重症心身障害児者等に対する入浴サービスの実施検討  ○重度障害者の受け入れに対応したグループホームの整備に対する補助の実施  ○精神保健福祉審議会の「仙台市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に関する審議を通じた、本市における精神障害者の地域移行・地域定着に係る課題の整理と課題解決に向けた施策の検討  ○関係機関との連携強化及び医療的ケア児等コーディネーター資格取得者へのフォローアップ研修等の検討  ○宮城県に対する県内統一しての現物給付化実施の要望の継続	
	【重】基幹相談支援センター設置	a	支援チームの中心となる相談機関が支援全体を統合できるよう継続的にサポートする機能の確立			
	【重】精神障害者家族支援事業	b	安定的な事業の継続に向けた、家族スタッフとなりうる人材の確保			
	② 生活支援	【重】医療型短期入所連携強化	b			後発の医療型短期入所事業所の利用促進につながるような事業所間連携の強化
		【重】重症心身障害児者に対する入浴事業	b			障害者福祉センターの送迎エリア外の居住者へのサービス提供
	③ 居住支援	【重】多様な障害特性に応じた機能訓練や生活訓練などのきめ細やかな支援の実施	b			○中途視覚障害者支援 ・視覚障害リハビリテーションの再編及び強化 ○高次脳機能障害者支援 ・効果的な訓練内容及び訓練実施期間の明確化 ・高次脳機能障害に特化した地域資源の欠如
【重】障害の重度化・高齢化に応じたグループホームの整備促進		b	・消防設備設置費用及び改修費用の負担を一因とする、重度障害者に対応したグループホームの新規開設・増設数の純化 ・仙台市グループホーム連絡会との連携による整備促進及び支援の質の向上			
④ 地域移行・地域定着支援	精神障害のある方の地域移行支援・地域定着支援	b	地域移行・地域定着のさらなる促進のための、より重度の精神障害者が地域で生活できる体制の整備(①多様な住居支援や特性に合致したサービスの確保、②地域の支援者の能力の向上、③地域での孤立を予防する仲間としてのピアサポートの体制の確立)			
⑤ 保健・医療・福祉連携	重症心身障害・医療的ケア児者支援体制整備	b	関係機関との連携推進			
⑥ 給付・手当等	心身障害者医療費の助成	a	処理・手続き及び財政面に係る関係各課・機関との調整			

仙台市障害者保健福祉計画等の進捗及び今後の方向性について

a: 順調に進んでいる  
b: 課題はあるものの、おおむね順調に進んでいる

現計画における施策体系		平成30年度～令和元年度の進捗等			厚生労働省改正基本指針、近年の法改正等	後期計画期間(令和3年度～令和5年度)の主要な取組	
		重点事業等	進捗度	課題			
(4) 生きがいにつながる就労と社会参加の充実	① 一般就労・福祉的就労	【重】一般就労への移行促進	b	関係機関の支援スキル向上	<b>【改正基本指針】</b> ○福祉施設から一般就労への移行等の推進  ○障害者の社会参加を支える取組 ・障害者の多様なニーズを踏まえた支援 ・文化芸術の享受等を通じた個性や能力の発揮及び社会参加の推進 ・視覚障害者等の読書環境の計画的な整備の推進  <b>【法・制度等】</b> ・読書バリアフリー法の施行(R元年6月) ・障害者の文化芸術活動の推進に関する法律の施行(H30年6月) ・文部科学省 障害者活躍推進プラン(H31年4月) ・障害者雇用促進法改正(R元年6月) ・農福連携等推進ビジョン取りまとめ(R元年6月)	○障害者就労支援センターと相談支援事業所及び関係機関との連携強化 ○就労移行支援事業所等関係機関のスキル向上 ○大学在学中の学生の就労移行支援事業の利用促進 ○売れるふれあい製品の製作支援 ○就労継続支援事業等における農福連携の取組 ○企業の障害者雇用や、市民の福祉的就労への理解促進に向けた取組	
		【重】福祉的就労の充実	b	利用者の工賃向上			
		【重】障害者就労への理解促進	b	障害者就労への理解促進			
	② 日中活動	障害者福祉センター運営管理	b	既存事業のあり方及び新たに担うべき機能の検討			○(仮称)青葉障害者福祉センターを含め、障害者福祉センター事業全体の機能・あり方の整理  ○障害者スポーツのイベント及びボランティア活動等の支援を通じた、パラリンピックを契機とした障害理解のさらなる促進 ○視覚障害者をはじめとした障害のある方の読書環境の整備  ○仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、障害者地域活動推進センターと連携した当事者団体の活動状況の把握と新たな団体及びメンバーの発掘、育成に係る課題の整理
	③ スポーツ・レクリエーション・芸術文化	【重】2020東京パラリンピックに向けた選手発掘・育成開催事業	b	・2020東京パラリンピックの開催延期に伴う、障害者スポーツへの関心を継続させる取組の検討 ・障害者スポーツ参加者のすそ野の拡大			
	④ 当事者活動	精神障害者ピアカウンセリング事業	b	・当事者団体に係る情報発信のあり方の検討 ・新たな当事者団体及びメンバーの発掘、育成			
⑤ 移動・外出支援	障害のある方への交通費等の助成	b	支給コストの削減・財源創出の取組の促進				
⑥ 意思疎通支援	コミュニケーションの支援	b	障害当事者の需要を踏まえた通訳等の育成方針の検討				
(5) 安心して暮らせる生活環境の整備	① バリアフリー・ユニバーサルデザイン	バスのバリアフリー化の推進 地下鉄のバリアフリー化の推進	b	設備整備に向けた関係機関との調整	<b>【改正基本指針】</b> ○障害福祉サービス等の質の向上 障害福祉サービス等に係る各種研修への参加、障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有、指導監査結果の関係市町村との共有  ○障害福祉人材の確保 研修の実施、多職種間の連携の推進及び積極的な周知・広報等  <b>【法・制度等】</b> ・改正バリアフリー法施行(H30年11月、H31年4月) ・障害福祉人材の処遇改善及び消費税率引き上げに伴う報酬改定(R元年10月)	○(仮称)第3期仙台市交通局バリアフリー特定事業計画に基づくバリアフリー化の実施・推進  ○(仮称)青葉障害者福祉センターの設計及び工事 ○生活介護事業所の新規整備及び老朽化民間施設の改築・大規模修繕への補助の検討・実施  ○実地指導回数の増、重点化・効率化による事業者への指導強化 ○指定事務の見直しによる水際対策の強化  ○全ての人工呼吸器装着児者に対する災害時個別支援計画作成の勧奨と定期的な検証  ○障害福祉分野全体のイメージ向上を目的とした施策の実施など、人材の確保・定着支援に関する事業の推進	
	② サービス提供体制の基盤整備	【重】(仮称)青葉障害者福祉センターの整備	b	複合施設としての整備に向けた必要な機能の検討			
		【重】生活介護事業所の整備	b	・受入枠の状況及び将来的需要を考慮した生活介護事業所の新規整備に対する補助の検討 ・老朽化が進む民間施設の改築・大規模修繕に対する補助の検討			
		指導監査の推進	b	指定障害福祉サービス事業所の増加に伴う、虚偽の届出や不正請求等の案件の増加			
③ 防災・減災等	【重】人工呼吸器装着児者等に対する災害時個別支援計画作成の推進	b	・計画未策定の在宅人工呼吸器常時装着児者への計画策定 ・支援者間で定期的に計画を検証・修正を行う仕組みづくり				
④ 事業所支援・人材支援	【重】障害福祉サービス従事者確保支援	b	・事業効果の量的な把握 ・障害福祉サービスのイメージ向上				